

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業使命

有効性が高く、より副作用の少ないがん治療薬・治療法を一日も早くがんに苦しむ患者さんに届けること、がんとの闘いに勝つこと

2 中長期の経営戦略

1. 基礎研究の継続的实施

2001年から2013年の中村祐輔教授との共同研究成果を基にした標的分子に対する創薬研究を展開。複数の臨床試験実施中・準備中の医薬品候補物質を保有

3. 臨床開発の迅速推進

国内外で複数の臨床試験を実施。非臨床試験データに基づいた適応症選択により臨床開発を確実にかつ迅速に推進

2. 創薬研究の確実な推進

基礎研究成果を基に低分子医薬、がんペプチドワクチン、抗体医薬等の創薬研究を実施。ファースト・イン・クラスの創薬を目指す

4. 提携先開拓と既存提携強化

新規提携先を積極的に開拓。提携先との戦略的対話を促進し、臨床開発の側面支援・後方支援を強化

3 対処すべき課題

① 研究開発の加速

- 世界的な新薬開発競争に勝ち抜くため、質の高い研究成果を迅速に臨床開発へ進展
- がんプレシジョン医療の質の高い検査と免疫療法研究開発をより早く進展

② 事業領域拡大と資金配分

- 低分子医薬、ペプチドワクチン、抗体医薬に加え臓器線維症治療標的キナーゼ研究も推進
- 多数の創薬ターゲット全てに対し自社資源のみでは膨大な設備投資と研究開発費が必要

③ 経営効率化と安定化

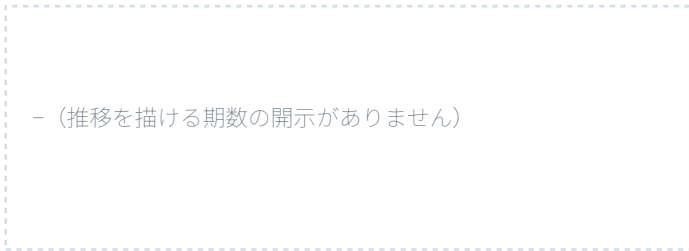
- 製薬企業等との提携により製品化可能性を極大化しつつリスク軽減
- 本社・研究拠点移転や人員配置見直しによる業務効率化、コスト削減の継続強化

面接で使えるポイント

- 2001年から2013年の中村祐輔教授との共同研究で確立した網羅的遺伝子発現解析技術が事業基盤となっている
- 低分子医薬、がんペプチドワクチン、抗体医薬といった複数の創薬アプローチを並行推進し…
- 全ゲノムシーケンス解析やネオアンチゲン樹状細胞療法などがんプレシジョン医療への取り組みで新しい事業領域を開拓している

証券コード 4564

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



要するに

オンコセラピー・サイエンス株式会社の事業概要
…

主力事業・セグメント

- ・Cancer精密医療 99.7%
- ・Research・Develop 0.3%

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
8億円

営業利益率
▲100.2%

財務健康度
33点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 36.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収

598万円

医薬品内 72位/80社

平均年齢

46.3歳

医薬品内 27位/80社

平均勤続

11.94年

医薬品内 30位/80社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: オンコセラピー・サイエンス[4564]：営業外費用等の発生に

